

2020年10月20日

聖学院に関係する全ての方へ

はじめに、医療現場の最前線で新型コロナウイルス感染症の対応にあたっている医療従事者・医療機関のみなさま、医療機関へ寄付や支援、ボランティアをされているみなさま。全ての方々に感謝いたします。

記念祭本部は新型コロナウイルス(COVID-19)による休校の影響を受け、3月頃に有志のメンバーで仮の記念祭本部が結成され、114th記念祭のOnline開催とZERO+というテーマ、理念が決められました。例年より2ヶ月遅い6月に正式メンバーが決まりました。

本部には当初から「聖学院生でよかった。新型コロナウイルスに対して真摯に向き合う聖学院に入れてよかった。」という揺るぎない想いがあり、114th記念祭を通して全ての聖学院生にこうしてもらいたいと願っています。そのため本部は全ての聖学院生が楽しんで個性を大いに発揮できる最高の舞台を作り上げるべく、常に変化し続けるコロナ情勢に対応した活動を行っています。



記念祭成功へ向けた本部の方針

今までにない記念祭。みんなで作り上げる記念祭。これは終業式、始業式の委員長/副委員長のスピーチで欠かさず使った言葉です。置かれている立場は委員、全校生徒、先生方そして記念祭本部も変わらないということを伝えたかったからです。もちろん記念祭の大枠を決めるのは本部ですが、全校生徒が作る企画は今までにないものであり、新たに作り、後世に引き継がれていくものになるかもしれません。新たな企画のアイデアを思いつける環境を作り出すことが、本部の責任であり使命だと考えています。11月本番にクラス、クラブ、有志そして学内プロジェクトなど、多くの団体が思い思いの企画で盛り上がるができるように、企画団体と本部のシームレスな連携、企画団体に対する的確なサポートを実現します。

環境への配慮

今までの記念祭を振り返ってみます。オフラインかつ、個人のデバイスを持っていなかったことにより
取り決め、企画書そして記念祭委員の招集など多くの場面で多くの紙が利用されてきました。
近頃、温暖化、ゲリラ豪雨そして異常に発達した台風によって日本のみならず多くの国で災害が発生し被害
を受けています。そのため本部は、少しでも環境保護に貢献できるようにペーパーレス化を実現しました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

これからについて

新型コロナウイルス感染症の影響は今後も続くと思われ、来年そして再来年もOnlineの記念祭となるかもしれ
ません。114th記念祭本部は、Online記念祭の土台を築き上げ、後輩たちに繋いでいきます。
置かれた状況に柔軟に対応できる記念祭。聖学院生、その家族そして世界が無限大の笑顔になる記念祭。
本部が記念祭の成功へ導ける存在であることを願っています。

Online

ZERO⁺

～無限大の笑顔を～

初めての取り組みに大きな一歩を。
あなたにとってかけがえのない時間を作り上げよう。

114th記念祭は教職員のみなさま、聖学院生のみなさま、ご家族のみなさま、そして女子聖学院のみなさま
に支えられています。本当にありがとうございます。
記念祭成功に向け、さらなるご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

聖学院中学校高等学校

Online 114th記念祭 『ZERO+ ～無限大の笑顔を～』

記念祭本部 高校記念祭副委員長

高瀬 皓大